

広報

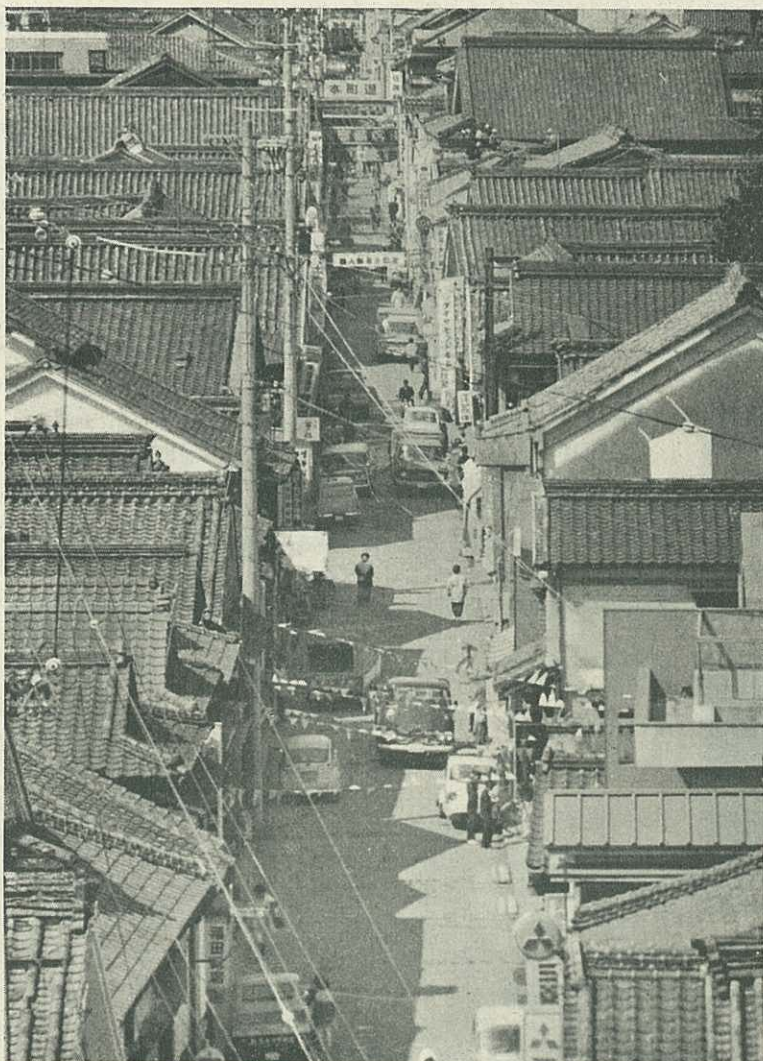
いまり

市の人口	
3月1日現在	
総人口	67,465人
男	31,852人
女	35,613人
世帯数	15,346世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

○ 毎月1日発行 昭和41年4月1日 伊万里市役所総務課発行

No. 144



(S 41・3・28 玉屋屋上から本町通りを写す)

広報こよみ

- 7日 二里戦没者慰霊祭
伊万里市長選挙告示
 - 8日 中学校入学式
 - 9日 小学校入学式
東山代戦没者慰霊祭
 - 10日 第9回山代町民体育大会
市長選立候補届出しめきり
 - 12日 伊万里戦没者慰霊祭
 - 12日～13日 補充名簿異議申し出
 - 13日 南波多戦没者慰霊祭
 - 15日 無料法律相談日
松浦移動栄養教室
 - 16日 波多津戦没者慰霊祭
 - 17日 市長選投票日
 - 19日 新卒市内就職者歓迎大会
- ☆つごうによって変更することがあります。
- ☆あなたの町や部落で明るい話題がありましたら市役所広報係へお知らせください。

—— 発展策を講じてほしい伊万里町商店街 ——

3日 家庭の日	18日～24日 科学技術週間
8日 交通安全の日	全国環境衛生週間
10日～16日 第18回婦人週間	20日～26日 郵便週間
14日～20日 ポスト愛護週間	20日 第33回逓信記念日
18日 発明の日	29日 天皇誕生日

4月

新年度予算など審議

第1回定例市議会

ことし初めての定例市議会が、3月9日から19日まで開かれ、昭和40年度の各会計の補正予算・41年度の当初予算をはじめ、職員給与と条例の改正・固定資産評価審査委員・公平委員の選任など33件の議案が審議されました。

開会初日は、市長演説と議案の説明、10・11日は市政全般にわたって12人の議員からの一般質問、14・15日の議案質疑、16・17・18日の常任委員会審議をへて19日討論可決されました。

◎市職員の給与条例の改正は、国家公務員に準じて昨年9月1日にさかのぼって給与を改めるもので、本俸は平均6.4%増になりました。

こんどの改正で1,546万円の財源が必要になりますが、ことしは国から財源の80%が交付されます。

市議会からは、人件費の比重を軽減するため不補充・少数精鋭主義をとるとともに事務の合理化・適正な人員配置を要望されました。

◎特別会計で経理していた市立病院滝野分院の診療事業は4月1日から一般会計で経理することになりました

◎地方税法で設置が決まっている固定資産評価審査委員9人のうち2人の任期が近くなりますが、井上源吾

氏(立花町)・井手寛氏(南波多町)の両氏が再選されました。

◎また、公平委員会委員(定数3人)には、池田忠吉氏(大川町)の後任として、熊川末雄氏(南波多町)が新たに選任されました。

◎19日には、29人の議員からだされた建国記念日制定に関する意見書が多数の賛成で可決されました。

2月11日を建国記念日とすることは国民の圧倒的願いであり、政府はやく実現せよという内容で、内閣総理大臣に市議会の名で提出することになりました。

昭和40年度最終予算額決まる 一般会計4,880万円を追加

昭和40年度最終の補正予算が議決されました。

一般会計は、4,880万円を追加し総額13億8,824万円になりました。

特別会計でも684万円を補正しました。

こんどの補正の要点は、

- ◎国家公務員の給与改定に準じた一般職員の給与改定による予算を計上した。
- ◎港湾建設事業の2,830万円など各種県営事業の負担金を5,374万円追加した。
- ◎消費的経費の節減に努めるとともに懸案の各種補助負担金を取捨選択して計上した。

一般会計

こんど追加した財源のおもなものは、次のとおりです。

- 市税は、予算編成当時、税法改正で実数がつかめなかつた市民税1,289万円など2,076万円を追加しました
- 災害復旧や産炭地という特殊事情で国から特別に金が交付され、地方交付税に1,633万円を追加しました
- 国庫支出金は、生活保護世帯の医療費が減つたため546万円の減額・

保育園運営に165万円の増額・失業対策事業や炭鉱離職者就労対策事業に482万円の増・河川災害復旧で118万円の減額など、それぞれ補正しました。

○県支出金は、農業構造改善事業補助金835万円をはじめ、地すべり危険家屋移転補助金などを減額し、消防施設補助に増額しました。

○長期低利の借金として、港湾整備などの事業に1,230万円・し尿処理場



【写真】伊万里上水道拡張工事を見る山口市長

市政パトロール

3月10日、山口市長はし尿処理場と上水道拡張工事現場を視察し、工事責任者から工事の進みぐあいを聞きました。

山口市長は、し尿処理場・上水道施設ともに市始まって以来の大きな事業である。市民の早期完成を願う気持も非常に強いので、他市で問題がでているような事態にならぬように万全の対策をとっていると語りました。

アベツトであらわされる符
合がありさえすればよい。
◆「007」や「オバQ」
好みは、このような世の中
の暗示ではなからうか。
◆それとも、世の中があま
りにも人間臭く、どこを見
ても「我」と「我」の衝突
でやりきれないので、人間
臭さを超越した数字やアル
ファベツトに、つかの間の
いこいの場を見いだしてい
るのかも知れない。
◆しかし、いずれにしても
世の中に豊かな個性が欠け
ている風潮の証左にはちが
いないようである。
◆日本では個性をつちかう
時と場が与えられなかつた
◆まず、各人が自己の固有
名詞を大事にして、自分自
身を豊かに育て、ほんとう
の個性の確立を求めなければ
ならない。

建設に500万円・小学校施設に120万円・土木災害復旧に90万円など1,990万円を追加しました。

◆港湾建設に2,567万円を追加◆

4,880万円の金は、どのように使われるかを説明します。

支出で最も大きなものは、市職員の給与改定による人件費で、その追加を全部の費目に計上しました。

給与改定に要する財源は1,349万円です。このうち80%は国から交付されます。残りの財源は消費的経費を節約してまかなう予定です。

○総務費は、伊万里商業高校建設負担金317万円・原油基地調査費50万円など918万円を追加しました。

○民生費は、社会福祉協議会補助46万円や保育園の運営費134万円などを追加し、扶助費で682万円を減額しました。扶助費の減額は当初の見込みより医療費のノビが少なかったためです。

○労働費に計上したおもなものは、39年度国庫補助金精算による返還金107万円や重橋～木場線外5線のつづれ地など公有財産購入費104万円など274万円です。

○農林水産業費では874万円を減額しました。農業構造改善事業の一部が41年度事業に変更されたため、1,227万円を減額しましたが、二里町大里の土地改良組合のトラクター^{まてがた}購入補助68万円や波多津町馬蛤海岸堤防工事の負担金107万円・地すべり防止事業負担金105万円などを追加したので実質減額は874万円になりました。

○^{あさいち}商工費では、朝市協議会などへの

補助金・工場設置奨励金・黒髪山観光道路工事負担金など40万円を追加しました。

しかし、ここで注目すべきことは昨年計上していたアーケード建設補助金100万円をまたも減額しなければならなかったことです。

伊万里玉屋と関連して、本町通りのアーケード建設を促進するため計上していたもので、地元の話し合いがつかずお流れになったものです。

○土木費には総額4,233万円を追加しました。

県営事業でされる舗装などの道路改良の市負担金1,142万円・河川改修359万円・港湾建設2,567万円などです。

○教育費には、校舎改築に伴う渡り廊下などの補修や用品購入・国見・大川中学校運動場敷地購入に要する経費のほか、人件費など675万円を追加しました。

○借金の元利返済金として5,256万円計上していたのが、資金くり順調で一時借入れをしなくて済んだため^り利子100万円を減額しました。

山口財政課長は、昭和40年度の財政収支の見とおしについて、次のように語りました。

地方交付税600万円・市税270万円・借金700万円・歳計現金の運用利子230万円などの収入増が見こまれること、反面歳出て生活保護費医療扶助130万円・アーケード建設補助100万円・消費的経費300万円など減額したことで、約2,300万円の一般財源が確保され収支の均衡がとれそうだ。

特別・企業会計

●国民健康保険特別会計は、5627万円を減額しました。医療費のノビが当初見込んでいた9.5%に達しなかったためです。

●上水道企業会計

40年度は雨に恵まれたこと・学校プールの使用水量や平尾窯業団地の工場用水が増えたことで、使用料も122万円追加しました。

●市立病院企業会計

収入は入院患者減で501万円減額外来患者増で232万円増額などを中心に268万円減額しました。



【写真】二里町にできたクリーニング工場

クリーニング 企業組合できる

人手不足を解消し、合理的な施設で消費者へのサービスを向上させようと、伊万里クリーニング企業組合が設立されました。

市内クリーニング6業者が合同して二里町大里に工場(敷地400平方メートル・軽量鉄骨ぶき平屋建214平方メートル・工費500万円)を建設、3月15日から操業しています。

樋口理事長の話 人件費と物価の値上りがひどく個人営業ではこれ以上のサービスができない。合同して新しい機械設備・合理的な経営でサービス向上を図らなければわれわれの生活はできない。

◆「007」が洋画のベストテンで一位を占め、「オバQ」がテレビの最高視聴率を示している。
◆コマリシヤルの商標は、いずれも同じ「00」のついた数字と化し、商店の軒先も、同じ「オバQ」ばりのサンドウィッチマンが立っている。
◆「007」が洋画のベストテンで一位を占め、「オバQ」がテレビの最高視聴率を示している。
◆コマリシヤルの商標は、いずれも同じ「00」のついた数字と化し、商店の軒先も、同じ「オバQ」ばりのサンドウィッチマンが立っている。
◆「007」が洋画のベストテンで一位を占め、「オバQ」がテレビの最高視聴率を示している。
◆コマリシヤルの商標は、いずれも同じ「00」のついた数字と化し、商店の軒先も、同じ「オバQ」ばりのサンドウィッチマンが立っている。



魅力のある商店街に 伊万里市商店街連合会結成

デパート伊万里玉屋の開店をひかえ地元商店街は共存共栄のための経営改善に力を入れ始めました。

関係機関も、商店街診断・交通量調査・特別講演会などを行なってその対策に腐心しています。

車まかり通る本町商店街

商工会議所が3月に行なった商店街の交通量調査によると、1日平均6か所で人が3万6,500人・車が3万900台になっています。

駅通り慶応堂書店前で7,300人・3,800台・浜田デパート前で5,900人・2,800台の交通量です。

調査結果から商店街に基本的な問題を投げかけています。

本町通りのような狭い道路を1日6,000人ちかくの人が歩くうえに2,800台もの車が走っていることです。買物客が車両通行どめにせよというのも当然です。いまのところ、お客を楽しませながら歩かせる商店街とはいえません。

雨天のときは、こども連れのご婦人は危険で通る気持ちになれないようです。

このようなことを考えると、アーケード建設問題がいっこうに具体化しないのは残念です。

共存共栄のために、関係機関が懸命になっても、かんじんの商店街が積極的・自発的に共同精神で取り組まねば消費者に喜ばれる街にはなりません。

伊万里玉屋横の交通量は、3,700人7,400台で市内で最も危険な場所の一つです。歩道や車両専用道路を早く建設することがのぞまれます。

福岡大学の三苫教授は、伊万里町の商店街に対して

- ▲チケット団体は統合すべきだ。
- ▲共存するには大型化・共同化せよ

デパート伊万里玉屋 4月23日開店

東新町に建設中のデパート伊万里玉屋（田中丸善三郎社長・田中丸住雄店長）が4月23日開店に決まりました。

地上5階塔屋2階建・鉄筋コンクリート造りです。

建坪延べ5,013平方メートル・敷地1,648平方メートルで、職業安定

化を図り、独自の持ち味をいかせ。

▲店員は商品知識を身につけよ。

▲商店街は、玉屋開店歓迎大売りだしをすべきだ。と指摘しています。

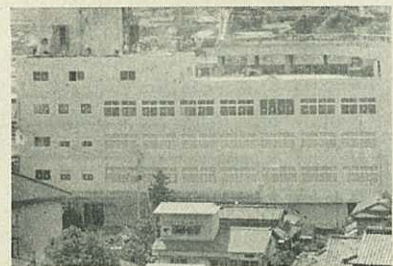
活躍がのぞまれる商店街連合会

▲デパートの専門部をしのぐ専門店

3月16日には、玉屋とともに栄えるために組織運営を強化しようと伊万里市商店街連合会（池永栄二会長）が結成されました。銀座通り・本町浜町・新天町の商店180店で構成しています。

同連合会は、チケット組合業務の合理化・駐車場・アーケード・バイパス線の建設などに意欲的に取り組もうとしています。

消費者は、商店街全体が平面化されたデパートとして顧客を引きつける魅力のある町にはやくなるよう望んでいます。



さいごの仕上げをいそぐ伊万里玉屋

所前には専用の無料駐車場1,320平方メートルも造られています。

1階は、食料品・化粧品・紳士洋品・雑貨・靴・カバン類

2階は、婦人洋品・婦人服・こども服・呉服

3階は、紳士服・学生服・文具・玩具・家庭台所用品

4階は、食堂・特売場

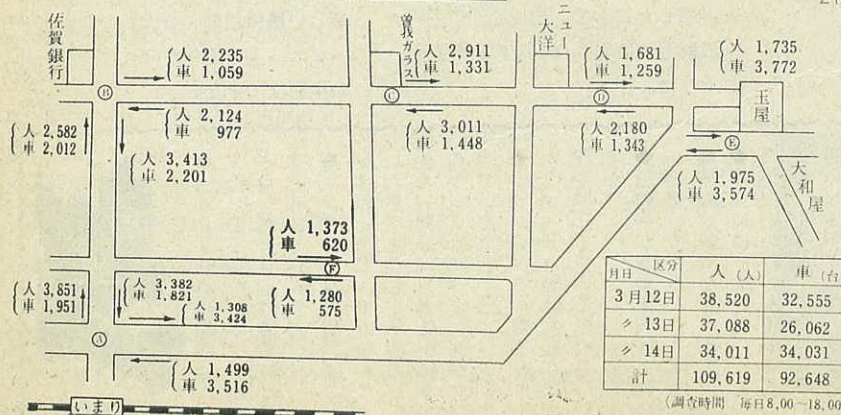
5階は、結婚式場・屋上遊び場となっています。

エレベーターは5階までエスカレーターは4階まで

3基とりつけられています

従業員213人のなかには市内高校を卒業した新入社員73人も含まれています。

商店街の一日交通量（1日平均）



消防応援協定を結ぶ

松浦市・福島町・世知原町と

佐賀県と長崎県に隣接する市町村で、消防応援協定が結ばれました。

伊万里市は、長崎県松浦市・福島町・世知原町と協定しました。

この協定は、火災・水害・地すべりなどの災害が発生したとき、たとえ県は違ってもお互いに助け合うための約束です。いままでは、協定がなくても自発的に協力してきました。しかし他県へ出動したために消防士が負傷した・消防自動車がかわれたなどの事故が起きたとき、そ

の経費をどちらで負担するか、ハッキリした取り決めがありませんでした。

内容は消防自動車のガソリン代・応援隊の食糧費・出勤手当・消防ポンプや建物の破損補修費・一般民間人が死傷したときの療養費の負担などについて定められています。

この協定は、消防行政の広域化が目的ですが、こんご経済的・文化的な交流もさかんにすることが期待されます。



市政モニター会議開く

2月23日、第2回モニター会議が開かれ、山口市長から、伊万里湾開発計画を中心に市政のこの1年間の推移と問題点・将来の構想について説明がありました。

モニターからは、木工・機械部門などの職業専門学校を設け、すぐ市内の工場に就職できる青年を養成せよ・昔行なわれていた桜祭りを復活して、市民が伊万里町を憩いの場所にするようにせよ・工場が誘致されれば商店街に対する銀行の融資わくが縮小されると思うので、市の振興資金を借りやすくせよ。などの意見がでました。

力1人あたり660平方メートルとして、少なくともわたくしは3倍に拡充したい。来年から年次計画で実行する予定だ。

いま、電熱利用のハウスだが、経済的に問題があるので、たい肥ふみこみも併用したい。

3年間、キュウリを連作しているが、連作障害が心配だ。ことしは、クロールピクリンで消毒したが、あとで立ち枯れ病も考えられるし、病気発生のときなどの関係機関の技術的指導を充実してもらいたいものだ

市民のなかには、消費人口増で園芸を思いたたれるかもあると思うので、ハウス建設資金の援助も充実されたい。

秋にもハウス栽培をしたが、商品価値が少なく失敗した。こんご、長崎県の西有家や武雄市の朝日町などの先進地を参考にして、ハウス栽培を続けるつもりだ。

わたくしの農業経営 ■■■■■ ビニールハウス栽培

伊万里市農業を7ヶタ農業にするにはどのように改善すればよいか。養鶏・酪農・そ菜園芸・果樹・水稲など農業経営上の問題点が多いと思います。

これらの基幹作目に取り組んでいる市内では少なくともトップクラスと考えられる篤農家を訪ね、苦勞話しなり意見を聞いてみます。

伊万里農林高校の田端・中島先生の協力をうけ、農業放談会の会員を対象に取材し、今月から7回にわたって連載します。

働き手 1人あたり 660平方メートルにしたい

東山代町脇野の立石元次さん(55歳)は、奥さんと息子の節生さん(23歳)の3人で、水田1.2ヘクタールと660平方メートルのビニールハウスを経営しています。

収入はそ菜園芸6・水田4の割合です。

脇野・里・浦川内は、従来から野菜の栽培が盛んで、東山代ビニールハウス組合(組合員7人)を設け、農協の世話で月2回ぐらい研究会を開き、園芸技術の向上を図っています。

立石さんは、昭和38年に耐風性の鉄骨ゼット型ビニールハウスを造りここにいま、キュウリを栽培しています。別にトンネル栽培でトマト・ナス・メロンなどを作っています。

毎年、12月20日ごろ種をまき、3



立石さんのビニールハウス

月10日ごろから青果市場に出荷しています。

いまは、毎朝9時にはハウスに日差し、換気調整などの作業にあたっています。

立石元次さんの話

そ菜園芸は、施設園芸ともいわれるが企業化しなければだめだ。労働

【ついで】

行政区画の変更について
山代町西分の区費の取り
立てや行事の連絡などは、
向山炭鉱下田原にまで及ん
でいる。

西分部落は、西大久保や
向山の区域が入り組んでい
るため、連絡・各種会合な
どに不便である。

市で、部落境界線の設定
や行政区画の変更について
あつせんできないか。

また、山林・田畑などの
境についても、同一部落・
隣同士に住みながら仲たが
いすることが多い。

セメント柱を市で販売し
市役所職員・区長など立ち
会って全市境界つくり運動
をはじめようか。

山代町 一市民

【おこたえ】

行政区画は、市議会の議
決を経て（知事に届ける）
変更することができます。

しかし、いまはこのよう
なあつせんはしておりませ
ん
部落の構成が、現状にそ
ぐわないとところがほかに
あります。市民生活が不便
で、大きな迷惑をかけてい

るもので部落からの要請が
あれば、実情調査をして検
討します。

山林・田畑などの境界線
つくり運動は、部落で自主
的に運動班をつくって、す
すめられたら効果的ではな
いかと考えます。

セメントの境界柱は、一
本一五〇円ぐらいで、市内
の建材店で売っています。

市内企画課長事務取扱



【意見】

郷土を愛しよう

郷土の繁栄は、市民の生
活向上の基本であり、国家
の繁栄につながる。

国家は地方の集まりであ
り、郷土を愛することは、
国家を愛することになる。

世界が、民族主義・国家
主義を中心に躍動している
とき、わたくしたちは郷土
愛を基本に国家愛に心すべ
きである。まず伊万里をい
かに生かし発展せしめるか
に努めるべきであらう。

伊万里の発展は、伊万里
湾の総合開発にある。交通
の発達・石炭産業の斜陽化
で衰退していた伊万里湾も
合板企業の誘致で活況を呈
してきた。

また、市当局で先人の意
思をつぎ新たな構想で開発
に前進されているとき、こ
れを成功させるのは人の和
である。施設を建設するの
も市民の盛りあがった政治
力の結果が必要である。

わたくしたち市民は、そ
れぞれの立場で、伊万里湾
が平和な港湾として世界的
に発展することを期待して
明るく夢の実現に協力すべ
きである。

伊万里町本町 隆川

表紙写真募集

毎月発行している広報いまりの表
紙に使う写真を募集しています。

来年3月には、応募作品全部を市
役所に展示するとともに再審査して
市長賞1点を決めます。

▲ 応募規定

- ・市内で撮られた写真であること
- ・サイズはキャビネ版（黑白）

▲ 応募資格

- ・伊万里市民であること

▲ 題 材

- ・市政と関連したもの
- ・季節的風景

▲ 応募期間

・制限なし。毎月20日までに市役
所総務課へ送られたものを審査し
載せる

▲ 採用・月1点・採用分薄謝進呈

▲ 応募上の注意

- ・作品は未発表のもの
- ・作品の裏面に住所・氏名・撮影
年月日・場所を記入すること。

昨年4月からことし3月までの表
紙写真コンクールの結果、蓮池町の
川井田孝子さんの作品(昨年10月号)
が市長賞に決まりました。

三つのことば運動

新婚家庭に色紙を

「世のなかには、気がやさしくて、
心のしっかりした新郎新婦ができて
いかねば、日本は建設どころか滅び
てしまいます。

力のないわたくしは、新婚家庭に
お祝いの品をお贈りすることはでき
ません。家庭の幸福を願い、平和な
うるおいのある社会を建設してくだ
さることを念願して、わたくしが書
いたつたない色紙をお贈りします。

結婚式のおり、山口市長からお贈
りください。」と、このほど達筆で書
かれたりっぱな色紙が15枚送られて
きました。

色紙には「結びれて今日のよろこ
び永しえに」「善き社会1人1人の
こころがけ」などが書いてあります
贈り主は、東京都練馬区の東大泉
郵便局長をしておられる加藤源蔵氏

(66歳)です。社団法人善行会の調
査委員もしておられます。

加藤さんは、昭和32年ごろから今
日まで1万3,000枚ぐらゐの色紙を
全国の新婚家庭に贈られ、色紙をい
ただいたご家族からなによりの贈り
物とよるこばれているそうです。

山口市長は、伊万里市が推し進め
ている三つのことば運動の趣旨が、
うるおいのある平和な社会をつくる
という加藤さんのお気持ちと同じで
ある。加藤さんのお気持ちをくみ、
結婚式に参列したおり、新婚夫婦に
おわたしたいといっております。



加藤さんから贈られた色紙



【写真】 婦人の労作 らくがき帳

らくがき帳発行

婦人の地位・教養の向上を図ろうと、大川内町婦人会（福岡茂子会長455人）は、昭和38年から年1回機関誌らくがき帳を発行しています。このほど第4号ができました。

俳句・詩・短歌・感想文・日記・主張など16頁にわたってびっしりのせてあります。

このらくがき帳は、会員が1日の労働が終わってから疲れをいやすかてとして・話しあい手として婦人会支部班別に回覧されています。

福岡茂子さんの話

書くことは、悩みや喜びを心の感動として記録するものです。

その日のできごと・考えごとを日記でいどの気軽さで書いてもらっています。



浦部落チーム優勝

第6回波多津町民バレーボール大会が、3月20日波多津中学校で開かれました。試合は、部落対抗で各チーム婦人3人をふくめた15チームが参加、応援に集まった町民500人の声援のうちに終日熱戦をくりひろげ浦部落が優勝しました。



熱戦をくりひろげるバレー大会



【写真】 二里町の婦人電化学級

婦人も電気に強くなる

婦人は電気に弱いといわれていますが、二里町では電気をじょうずに便利に利用して楽しく毎日を送ろうと、昨年8月から毎月電化学級（会員43人・学習24時間）を開いています。

この学級は、電気知識や器具の簡単な修理法・器具の選びかた・取り扱いかた・配線と照明などを学習する電化婦人のつどいです。

婦人学級などでご希望があれば、いっさいの世話をする九州電力伊万里営業所か各町の公民館にお申し込みください。

交通安全 ゼロを願って

ラワン材の廃材で安全塔を

犯罪と交通事故のない明るい町づくり役に役立つと、ラワンの廃材（直径15センチメートル・長さ2メートルの円柱）で安全塔30本を建てる準備が山代町で進められています。山代中の西山・西田の両先生が余暇を利用してペンキ塗りや文字を書きこんでおられます。

安全塔には、「防犯と壁にはるより、胸にはれっく飲むな、急ぐな居眠りするな」などの標語が書かれています。

ちかく町内の主要か所に防犯協会交通安全協会の役員で建てられます。伊万里警察署でも同じようなもの100本をつくり、市内の主要道路に建てられることになっています。

小学1年生の父兄へ

ことしも入学時期が近づきました。昨年、県内で小学校に入学したばかりのこどもが交通事故で死んだり、けがをしたことがあります。はじめてひとりで通学するこどもたちにはいまの交通事情や道路は危険がいっぱいです。

こどもたちを交通事故から守るためには、つぎのようなことに気をつけ



ペンキをぬる西田先生と荒木派出所長

けましょう。

▲学校までこどもといっしょに歩いてみて安全な道順を決めておく。

▲時間に遅れないように早めに家をだすこと。登校直前に、しかなかったりおこらせたりしないこと。

▲道路は、右はしを一列にならんで歩くように・おしゃべりをしながら歩かないように教えてやること。

▲車の直前・直後は道路を横切らないように注意しておくこと。

▲横断するとき、一度立ちどまり左右をたしかめ、手をあげながらまっすぐ歩く習慣をつけさせること。

▲まわり道でも横断歩道を渡り、せまい道から急に広い道へとびださないよう注意すること。

▲道路上の遊びは、絶対にさせないこと。

かあさん つれていってね

腸バラチフスと百日ぜき・ジフテリア混合第1期予防接種

▲日取りと場所

春の赤ちゃんコンクールと乳児健
康相談が行なわれます。

▲該当者 昭和40年4月1日から昭
和41年3月31日までに生まれた乳児

▲日取りと場所

4月	実施町名	場 所
8日	波多津町	波多津出
11日	黒川町	黒川出
13日	二里町	二里出
14日	大川町	大川出
15日	山代町	山代出
18日	松浦町	松浦出
19日	東山代町	里公民館
20日	伊万里町(女)	柳井町公
21日	南波多町	南波多出
22日	伊万里町(男)	柳井町公
26日	東山代川内野	川内野公
27日	最終審査	柳井町公

腸バラチフス2回目		百日2回目腸バラ3回目		
4月13日	黒川小島医院	4月22日	黒川小島医院	立目校区は伊万里
〃	波多津	〃	波多津出張所	
14	南波多	25	南波多小学校	東八谷搦は伊万里
〃	二里市立病院	〃	二里小学校	
15	東山代出張所	26	東山代出張所	
〃	松浦出張所	〃	松浦小学校	
18	山代出張所	27	山代出張所	
〃	大川出張所	〃	大川出張所	
19	伊万里図書館	28	伊万里図書館	伊万里牧島小校区
21	柳井町公民館	5 2	柳井町公民館	大坪大川内小校区

▲ 時 間 各会場ともひる1時30分～2時30分

▲ 対象者 百日混合1期 昭和40年7月1日から12月31日までに生
まれたかた

腸バラチフス 昭和37年5月1日から38年4月30日ま
でに生まれたかた

※ 時間は、各会場ともひる1時か
ら3時まで

日 曜 在 宅 医

月 日	4月10日	4月17日	4月24日	5月1日	5月8日
地区名	前田病院 口石医院 桑原医院 木本医院 野中医院	夏秋医院 前田病院 浜田医院 犬塚医院 世戸医院	隅田病院 菊地外科 岩崎病院 鈴山医院 小島医院	加茂医院 原 医院 桑原医院 木本医院 野中医院	堀田病院 加茂医院 浜田医院 犬塚医院 世戸医院
伊万里地区	小島京医院	小島俊医院	平山医院	鶴田医院	山口医院
東 部 地 区	大田外科	山元外科	社保病院	黒木医院	水上医院
西 部 地 区					

無料法律相談所

▶ こんどの相談日

4月15日(金) 10時～3時

▶ 場所 市役所市民相談室

▶ 相談員 弁護士 熊川定一氏

次のかたからご寄付をい
たきました。厚くお礼申
しあげます。(敬称略)

社会福祉事業費へ

▼ 香典返しを寄付

○ 参千円 三ヶ尻紀和(東
山代町里 亡母キヨ)

○ 参千円 川原弘(大坪町
上古賀 亡母シメ)

○ 五千円 前田千代子(大
坪町白野 亡夫信男)

○ 五千円 川久保満男(東
山代町川内野 亡母サツ)

○ 老万円 山口シメ(山代
町鳴石 亡夫光次)

○ 老万円 力武 亡母マツ

善次(二里町大
里 亡長男敏博)

○ 五千円 田代 寄

次郎(山代
町立岩 亡母シカ)

○ 貳千円 島田英夫(東山
代町久原三区 亡夫福司)

○ 貳万円 瀬戸春人(南波
多町府招上 亡祖父峰治)

町桃川 亡夫繁男)

○ 五千円 田島きよ(相生
町 亡母藤本いわ)

○ 貳千円 馬場勝(大川内
町大川内山 亡父竹松)

○ 五千円 齊藤勝明(元町
高圧昇方 亡父宇市)

○ 五千円 前田末久(大坪
町下古賀 亡父貞雄)

▼ 特志寄付

○ 参百円 匿名(牛込局消
込)

印伊万里警察署経由)

○ 参百円 匿名(伊万里局
消印)

▼ 拾得金待期満了

○ 老千円 藤和彦(国見中
佐藤三雄・古賀照幸・城島
悟(二里小))

教育振興奨励基金へ

▼ 香典返しを寄付

○ 五千円 松下久子(東山
代町福住 亡夫久吉)

○ 老万円 多久島清(東山
代町長浜 亡妻アヤノ)

○ 老万円 山口博幸(東山
代町天神 亡母マツ)

○ 老万五千円 松尾剛(立
花町西田造寺 亡父泊)

○ 五千円 山崎マイ子(山
代町久原三区 亡夫福司)

○ 貳万円 瀬戸春人(南波
多町府招上 亡祖父峰治)

庁舎建設基金へ

▼ 香典返しを寄付

○ 老万円 池田桂吾(二里
町川東 亡父熊次)

▼ 特志寄付

○ 貳万円 山口正次(大坪
町)

○ 老万円 竹内通教(松島
町)

○ 老万円 田中藤太(本町)

(昭41・3・22現在)

- 8 -

伊万里市立花町
印刷所 立花印刷所

0516